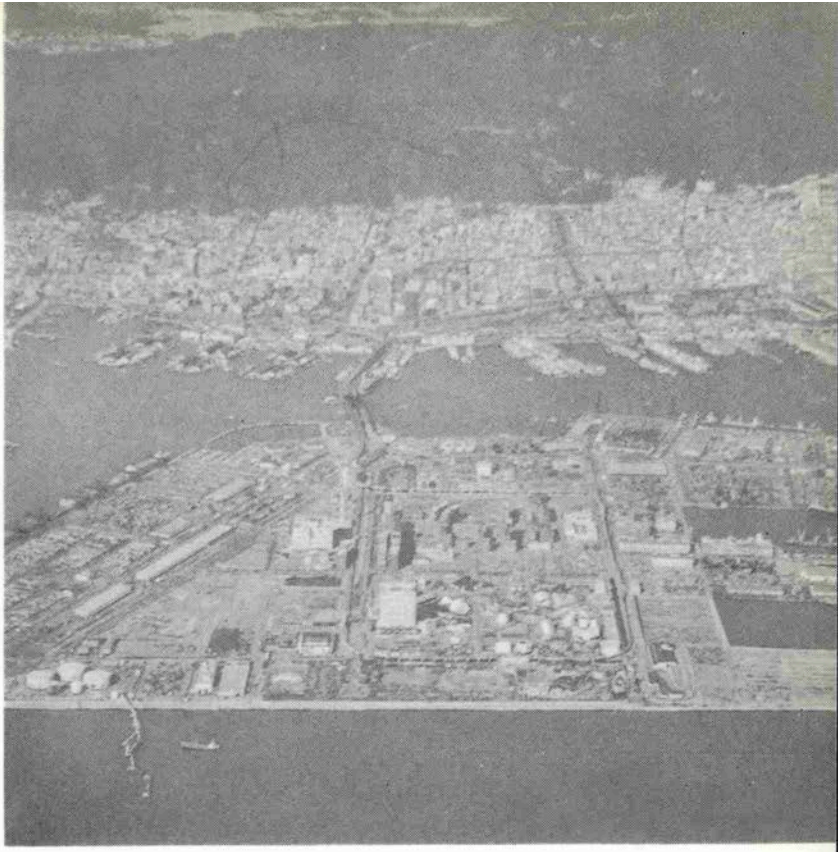


●建設の進むファッションタウン

ファッション都市への大いなる胎動

神戸市が、ファッション都市づくりをめざして今年で十年になる。それまでの鉄鋼・造船主導型の経済構造にかげりが出て来た時点で、逸早く地場産業であるファッション産業を前面に押し出した都市づくりを強力に進めて十年。この間、行政・経済界が一体となって展開して来たファッション都市づくりへの多彩なアクションが、今、一つの実を結ぼうとしている。そして、ファッション都市の〝核〟ともいうべきポートアイランドのファッションタウンの建設がすでにスタートしている。

本誌では、ファッションタウンの現状とその将来構想について取材をした。

既成市街地にない魅力をファッションタウンにつくる

ファッションタウンは、ポートアイランドのインターナショナルスクエアのなかの約10ヘクタールを占め、現在すでに三十数社のファッション系企業が進出を決定している。

ファッションタウン建設の構想は、昭和四十八年に始まる。この年、KFA（神戸ファッション・アソシエーション＝川上勉理事長）が神戸市に「神戸ポートアイランドファッション街区計画」基本構想を提案、翌年、KFC（協同組合神戸ファッションシティー＝木口衛会長）が設立され、資金の調達を開始した。

ファッションタウンについて中田善司神戸市経済局長は次のような構想を打ち出している。

「ファッション産業の育成には、消費の場、人材育成、

ファッショナブルな雰囲気、この三つが必要だが、それを備えたのがファッションタウンでないといけない。〝ファッションステージ〟という言葉を使うなら、私はファッションタウンすべてがステージだと思っています」

ところでファッションタウンのデベロッパーである市の開発局の考えはどうであろう。西川知佑神戸市開発局計画課主査は、「メーカーが中心となっているので、下手をすると卸売団地になってしまう。人が集まり、楽しめる町にならないといけない」とその基本姿勢を話す。しかし、「初めからファッションタウンを小売りの町としては考えていない。どこで線を引くかが難しいですが。メーカーが小売りを始めると、秩序を乱すということになりかねない。各企業の考えに任せるしかない」と、ファッションタウン＝ショッピングタウンではないことをも強調する。

この点については、進出企業も同様の考えをもつ。「ファッションタウンについては、単なる商業団地にならないように気をつけないといけない。商売するだけの場所ではなくて、来た人がみんな楽しめる場所にしたいですね」とは田崎俊作田崎真珠社長の意見だが、たとえば、センター街とか元町のような既成市街地のショッピングタウンにしては意味がないということでは、コンセンサスが得られている。つまり、「センター街や元町とは味の違う一つの分野がファッションタウンにできないと消費者は来てくれない」（細川数夫ジャヴァグループ代表）ということだ。

「われわれは何も商店街をつくろうということではないのです。しかし、町の活性化のための何かがないと、箕面の卸売り団地になってしまう。せっかくつくったものが死んでしまう。人を引きつけ、活性化のためにはどんなものが必要なのか、どういう形で伸ばして行けばいいのか、神戸の何か特色のあるものをつくり上げて行かないといけない」との木口衛ワールド会長の意見が大方を代表しているのであろう。

ファッションタウンは〝人間の匂い〟のする町に

ところで今年三月、『神戸 ポートアイランド・ファッションタウン計画に関する調査研究報告書』が出されたが、これは、「ファッションタウンは企業の進出、業務活動の開始をもって完結するものではない。ファッションタウンが、ファッション創造の拠点にふさわしい環境条件を備え、企業のみならず市民をも包含した文化都市づくりへと飛躍するためには、なお解決すべき課題が残されている」（鬼塚喜八郎神戸ファッションタウン事例調査研究委員会長）との認識に立ってのことである。

長田隆造神戸市商工会議所商工振興部長は、「詳細は報告書にありますが」と前置きをして、ファッションタウンについての商工会議所としての取り組みを語る。

中田　善司さん

西川　知佑さん

長田　隆造さん

鬼塚喜八郎さん

木口　衛さん

川上　勉さん

細川　数夫さん

田崎　俊作さん

河本　春男さん

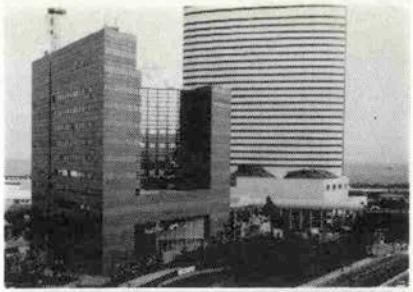
松宮　隆男さん

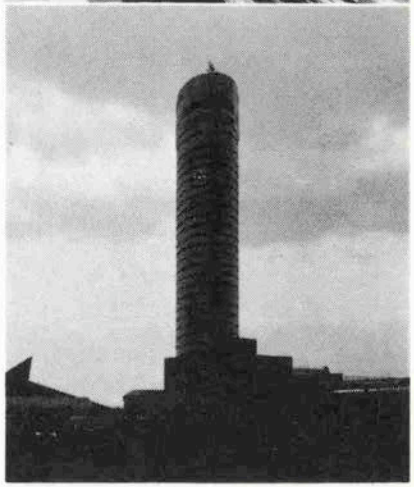
「神戸ファッションのメッカとして、ファッションタウンを人の集まる魅力ある町にするための活性化と機能強化を提言したい。活性化のために何をすべきか。まず、夜間の活性化。これは神戸全体に欠けている要点です。さらにファッション界わいのソフト面における演出。そして、各ビルのグランドフロアの活用などが考えられます。機能強化では、たとえば、神戸バザールなどのイベント。そして、人材育成。これはファッション大学構想へとつながって行きます。さらに情報機能の強化。これは、たとえば、ファッション資料館に情報サロンを設けるというようなことが考えられます」

結局、ここでは、ファッションタウンを神戸の新しい顔として位置づけ、ソフト面を中心とした研究が行われているが、「ポストモダンの理想的なファッションタウンを求めて」と標榜するあたりに、長田さんの言う〝人間の匂いのする町〟が志向されているようだ。

ファッションタウンづくりは神戸一〇〇年の計

ファッションタウンでは、すでに数社のビルの建設が始まっている。中田局長は、「ビルを一度にすべて建ててしまうのではなく、まず〝尖兵〟にやっていただいて、それから他の企業に出てもらう」と語るが、尖兵の一人である細川さんは次のように話す。





「われわれのところは、もうビルの建設にかかっていますが、人に集ってもらえる要素を自社のビルの中に盛り込んで、次に出て来る企業にいい波紋を与えるようにやって行かないといけない。もし倉庫のようなものを建てるなら、みんな倉庫になる可能性もありますよ」

木口さんも「それぞれのビルが個性をもち、ファッションタウンにふさわしいものにしたい」と新社屋建設については大いに意欲を見せる。

一方、松宮隆男モロゾフ常務は、「客に楽しんでもらえる空間づくりがぜひ必要」と強調。「たとえば、実際に菓子づくりをしているところをウィンドウ越しに見ていただいて、出来たての菓子を食べてもらえるようなことも考えています。単なる小売店ではなく、何かカルチャーを感じさせるものが欲しい」とプランを話す。そして、人を集める三つの要素として、情報を交換したり、物事を考える場（例・教会）、憩える場（例・公園）、エキサイトする場（例・コロシアム）のあることを指摘するが、当然、この三点セットがファッションタウンにも必要との意見だ。これについては、西川主査も「飲食店や小売店だけあっても人はやって来ない。カルチャーセンター的なもの、ホール的なものをつくってもらうよう

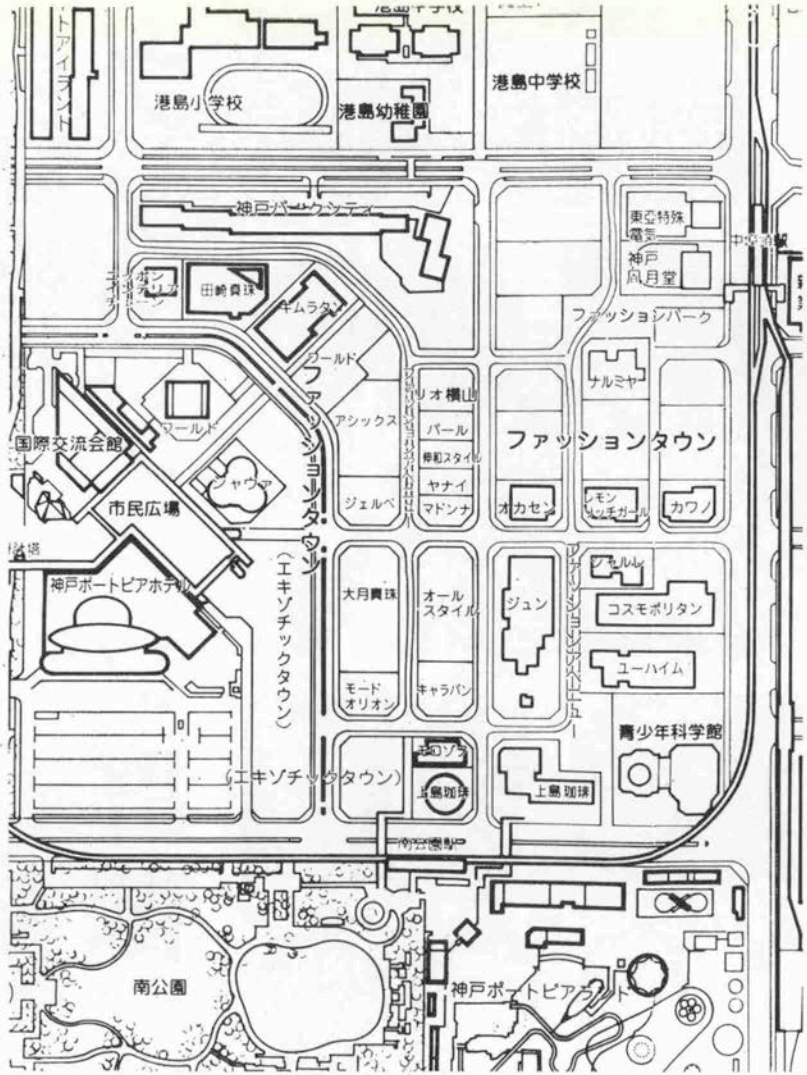
に各社に働きかけている」とのことで、現実に各社ともいろいろなプランをもっているようである。

つまり、「あそこへ行けばこういう楽しみ方ができるというものがあれば、わざわざでも来てもらえる」（河本春男ユーハイム社長）という町づくりが今、着々とポートアイランドで展開されているということだ。

「神戸のファッションタウンを中心として日本のファッションが世界のファッションになり、将来的には、ここにアメリカのファッション工科大学のようなものをつくりたい」と、中田局長のファッションタウンに賭ける意気込みは大きい。

「ファッションタウンづくりは神戸一〇〇年の計だ」とは川上　勉オールスタイル社長の兼ねてからの持論であるが、そこにはファッションタウンが、二十一世紀へファッション都市＝コンベンション都市として発展しつづける神戸の起爆剤となるとの認識がある。

すでにファッションタウンでは建設の槌音が高く響いている。「数多くの人々が集い、語らい、活性化した街区として、また、企業集積の効果を最大限発揮し、神戸ファッションのメッカとしてセンター的役割を果す」（鬼塚さん）タウンになるかどうか、いよいよ正念場をむかえていると言えよう。



ポートアイランド・ファッションタウン計画図

★明日の神戸を創るファッション界30人の提言

ファッション群像

★恵まれた環境とイメージを生かした街づくりを

三浦　幸衛〈株式会社モードリンダ代表取締役〉
一つの都市が、さまざまな顔で実に見事に調和して存在するように、ファッション面においても個性ある集合体の調和が望まれる。世界の国家群を見ても、その規模の大小に拘らず無視できない国も多い。個性群都市神戸に期待する

畑田　沍作〈㈱エスターニュートン店長〉
神戸は日本で初めて欧米ファッションを取り入れた。年々多くの観光客を集める神戸、衣食住全てにわたり、他所にない独特のものを打ち出したい。特に市街地の雰囲気作りに細かな配慮をし、従来のイメージの保存に力を入れたい

松谷富士男〈ベニヤ社長〉
町として旗印をはっきり掲げ、神戸らしさを打ち出していきたいですね。恵まれた環境とイメージを十分に生かして、楽しい買物のできる町にする。そのためにも商店街の活性化、連帯、個々の専門店の勉強が欠かせません。

清水　俊博〈㈱クロス常務取締役〉
ビジネスライクでなく、お客様との人間的なつながりを大切にした暖かい店づくりをしたい。大阪や京都で売っているものでも、神戸で買ったことで満足感を味わっていただけるような雰囲気の街に発展してほしい。

下村　光治〈㈱神戸鳳月堂代表取締役社長〉
これからはすべての面に大げさかもしれませんが、芸術的洗練を加える必要がますます重要になってくると思います。商品に、ウィンドウに、商店街に、都市の景観づくりに、常に総合的な調和とセンスが求められます。

永田良一郎〈㈱永田良介商店代表取締役〉
神戸がファッション都市として発展するためには、世界の情報が日本で一番先に入るという、いわば情報都市にならねばならない。そのためには、新空港問題も含めて、これからの10年間は大切な年といえよう。

木下　章夫〈㈱木下真珠代表取締役〉
私どもは、北野でハイクオリティな商品を中心に、オーダーサロンを構成していますが、北野界わいは全体的にイメージがアップしています。私どもも仕事と町とともに協調してグレードアップすることをめざして行きたいですね。

芦原　博之〈サノヘ社長〉
神戸市はベッドタウンとしてだけでなく、ファッション都市を自負するのならば、空港誘致についてもっと積極的に動いてもらいたい。神戸は港で栄えたが、今や人々は海より空を利用している。ぜひ国際空港が必要なのではないか

飯田　存〈㈱まさ代表取締役社長〉
神戸ファッションには都市にマッチした目立たぬ良さがある。それは生活に溶け込んだお茶漬ファッションだ。今も昔も、常に変わらぬ姿勢で機能性を追求する神戸の人達一人一人の生きざまが神戸ファッションをリードする土台だ

渡邊　千城〈渡邊洋服店社長〉
日本のファッション水準は、世界的にみても非常に高い。メイド・イン神戸の商品が、ヨーロッパやニューヨークなどへ輸出され認められた結果、日本へ逆に輸入される。将来はそんなフィードバックが行なわれていくべきだと思う

光葉　貞夫〈ゴンチャロフ製菓株式会社社長〉
衣食住、教育、生活信条に至るまで、思想と指向が文化的レベルで街と人々に溢れる時、それがファッション都市といえよう。未だ相当な時間を要しそうだが、歴史の積み重ねが肝要だ。せめて人の心の中だけは文化的でありたい。

吉田　俊夫〈メープル不二屋社長〉
神戸家具の素晴しさを全国の人に認識していただくよう、業界としても共同展示会、各催しに連帯して参加するなど更に努力が大切

ですね。同時に阪神間、郡部の消費者を引きつけるために車社会に即応した駐車場の整備も課題です

浅井　義一〈㈱モードオリオン社長〉

これからは、今までの個性をベースに、さらに強力なオリジナル性で勝負する時代です。つくる人間、売る人間が一つになって、マインド（心）を大切にしないといけない。消費者の志向も量から質の時代へと変っていますからね。

坂野　通夫〈ファミリア㈱代表取締役社長〉

神戸を外部からみて魅力のある都市にすることである。人口が増加し、定着する政策をとり、観光やショッピングなどで、国際的にも人が流入する魅力をつくる。そのためには、神戸港沖の空港問題を離れては考えられないだろう。

岸野　利男〈シンワ社長〉

神戸へ人々を魅きつける大きなイベントが、民間サイドからも行政サイドからももっと企画されるべきである。神戸と商圏を競う梅田は増々店舗が多くなっている。神戸に空の足として国際空港は今後絶対必要になってくると思う。

★自然と共生する近代都市へ

砂川　松枝〈クチュールカセット〉

ファッション都市を指向して10年にあたる現在、早急な課題は各商店やＫＦＭなどの無数にある少数集合団体が、真の意味で結束すること。同時にそれぞれが強烈なる信念を失わず、古き良き神戸を再発掘するよい機会だと思います

高野　修臣〈神戸家具専務取締役〉

失なわれてきた神戸の良きイメージを改めてつくり直す必要がありますが、生活そのものがファッションであるから、うわべを装うだけの街づくりではなく、すべての市民の生活にしっかりなじむことが大切でしょうね。

長島　隆〈神戸地下街㈱副社長〉

バレエでも演劇でもよいから国際的レベルのコンクールを神戸に作りたい。バレエなら踊りだけでなく舞台、靴、衣裳と権威ある審査をする。町への刺激になるし、世界から人が集まる。期間中は教室も開いて吸収の場を作るとよい

大牧　晴男〈株式会社リザ専務取締役〉

服を提供しても、それを着る場所がないと困ります。ファッションの香りと雰囲気が漂う絵になる町づくり、つまり、〝ファッション・ステージ〟がぜひとも欲しい。自然と近代都市の共生が可能なのは神戸だけですからね。

山田冨紗子〈㈱ウインザー副社長〉

神戸の女性達はパリやミラノの街を歩いても決してひけをとらない。ソフト＆エレガンスをポリシーとして、更にクオリティの高いマテリアルと洗練されたデザインを紹介し、神戸にマッチしたアダルドな気品ある服を追求したい。

渡邊　利武〈㈱マキシン取締役社長〉

ファッションもニーズがあってこそ洗練されてくる。街を歩くだけのおしゃれ以外にも、遊び心で気楽な社交の場をもっと持つべきだ。そういったパーティーでいろんな人のおしゃれ感覚を学ぶ。そこから神戸ファッションが育つ。

清谷　泰夫〈パリーシューズ工業所〉

今日のファッションの特徴は多様性にある。どんな商品が売れるか見通しがたてにくく、先を模索しているのが実情である。混迷の時代は時代なりに、情報収集の精度を高め、スピーディに対応できる態勢をとって行きたい。

清水　善之〈㈱マドンナ代表取締役〉

現代はファッションをトータルに考える時代である。その意味で企業としてよりよく発展するためには、専業的な展開よりも積極的・攻撃的に総合化をめざすべきだろう。また全国展開していく上で神戸のイメージを大切にしたい。

秋澤　三夫〈大丸神戸店店長〉

ファッションとは情報です。Ｎ

・Y、パリ、ミラノ等へ集中するのも情報量が多いからです。イメージでファッションを論ずることはできません。いかにファッション情報のチャンネルを多くもつことができるかが今後の課題です。

柿本　公資〈伸和スタイル株式会社代表取締役〉

ファッション業界が発展していくためには競合の場がもっとあってもいい。そういう意味でも、我が社がボーアイに計画しているビルには色々なメーカーに入ってもらい互いに刺激を受け、さらに良いものが作れればと考えている。

田中　謙司〈メンズ・ショップ・ゲント〉

紳士服のオーダーメイド業界は若い技術者がいないという大きな問題をかかえている。若者にとって魅力ある業界となるように我々自身も努力するが、養成機関作りやライセンス制度など、市や国の公的な援助が絶対に必要だろう。

西嶋　勲〈西島ドライクリーナ株式会社社長〉

ファッションは、もはや着飾るものから、生活空間を自分なりに選びトータライズし、組み変えていくものへと変容している。神戸のさまざまな業種は、この点を的確に指向、提供して、街の雰囲気を創りだしていくことが必要です

下河内　潤〈大橋化学株式会社常務取締役〉

神戸という土地柄、ファッションは非常に多様化してきています現状は、今までのファッションが定着したリアクションとして新しいものを模索している段階。神戸のストリート感覚から〝ネオ・ニュートラ〟が生まれてきてほしい

中村　友一〈俯御影貿易商事社長〉

真珠の美しさが人生を豊かにする役割を果たすように、アパレルその他の業界とも協力しあって神戸のリビング・ファッションを人々に提供し、真珠の「美の幻想」を確かな「現実」と結びつける努力を続けたい。

三浦　明定〈俯キングスコート代表取締役社長〉

神戸に全日本的とか売れ筋を排し、老舗づくりを目指したメーカーや商店が出現してほしい。数年後に生まれるボーアイのファッション街区が大阪や京都にない独創的な商品で充たされてこそ近未来の「ファッション都市神戸」だろう

FASHION・REPORT

じっくりとファッション教育のできる街に。

福冨　芳美

〈神戸ドレスメーカー学院々長・明石短期大学々長
大丸神戸店チーフデザイナー・神戸市文化賞受賞者〉

パープル系のブルーがほんのりかかった
ヘアーがよくお似合いの福冨院長

神戸で洋裁教育に四十五年の歴史を持つ、神戸ドレスメーカー学院院長の福冨芳美先生が、九月十一日、相楽園会館に於て神戸市文化賞を受賞された。旅先でこの吉報を受けたという福冨先生を、北野町の同学院に訪ねた。

――この度は、本当におめでとうございます。ファッション関係からこの賞を受賞されたのは初めてですね。

福冨「ありがとうございます。正直申してとても驚いていますの。この年にもなると、教育に携わっているだけで頂戴する賞もありますが、そういう意味では思いがけない賞で、喜んでいます。でも新聞取材で先日私の歳がバレてしまってガックリ（笑）だってお年のわりには、お元気で、よく働かれますねえって（笑）」

――先生が洋裁を始められた頃と今では、随分時代が変化しましたでしょう。

福冨「そう、洋裁なんて言葉が一番ハイカラだった時代ですからねェ。今で言えばコンピューターを手がける女性ぐらいに思われたかもね（笑）その頃、洋食も珍しかったし、朝食にパンを食べる人なんてほとんどいなかったもの。洋服も普及され、日本人の生活も西洋化したわ」

――女学校の時から洋裁に興味をお持ちでしたか。

福冨「いわゆる婦人雑誌の型紙を新聞紙で裁って、ちょこちょこ自分の物は縫っていましたね。やはり好きだったんでしょうね。オッチョコチョイだったのかも（笑）

それから、東京の杉野芳子先生のドレスメーカー女学院で勉強して、帰神して洋裁学校を始めたのです。でも仕事を持つということで、両親から大反対を受けましたよ。お嫁に行くことだけが女の大仕事という時代でしたもの。今の若い女性が本当に羨ましいわ」

――洋裁学校に対する考え方も変わってきましたね。

福冨「私がドレメを始めた昭和十二年頃は、洋裁熱が関西に高まった時で、びっくりするほど人が集まりましたね。かつては茶道、華道、和裁に加えて洋裁も花嫁修業のひとつに数えられていたぐらいですから。

現在は、将来の職業のためか、よっぽど洋裁の好きな人しか入学なさいませんね。かえって、皆が真剣だから、教えがいはあるようです。女性の生き方の歴史が、洋裁学校にはあるんじゃないでしょうか。

大丸神戸店2Fのジバンシーサロンで。右は神戸ドレメのOB、大西節子デザイナーと福富芳美チーフデザイナー

それと、最近は男生徒も増えてきましたね。有名デザイナーに男性が多いように、女性も勉強しなければ、男の職業にとられつつあるようです。学院でも男生徒のデザイン画は、不思議とすぐわかるの。男性の目で見る女性は違うようね。女性の美しさを自然にとり入れるのが上手なのかも。とても女っぽいんですよ」

――ファッションの仕事を始めると、東京へ出ていく傾向があるようですね。

福富「ええ、一生懸命に育てても、東京へ移ってしまうのでは残念ですね。神戸は狭い街ではあるけれど、神戸で育った人には、地元で頑張ろうという気持ちをもっと持ってほしい。会社の数も東京に比べれば少ないけれど、楽しく一生仕事のできる街だと思いませんか」

――神戸市はファッション都市宣言をして十年目を迎えますが、今後どのようなことに力を入れるべきでしょう。

神戸市文化賞の受賞式で市長から祝辞を

福富「ファッションが生まれる都市だなァと思わせる雰囲気がありますね。うちの生徒でも県外からきている娘さんが、北野の寮に入ると、自然とシャレてくるのよ。視覚からの勉強に良い街でしょう。だから私は、ファッション教育ができる街になればいいと思います。じっくり腰を落ち着けて、勉強できる環境でしょう。

神戸は都市の中でも個性のある都市づくりを目指してほしいと思うの。ファッションメーカーにしても、大きくなりすぎず、ユニークなメーカーに育ってほしい」

――大丸神戸店の顧問デザイナーとしても長いですね。

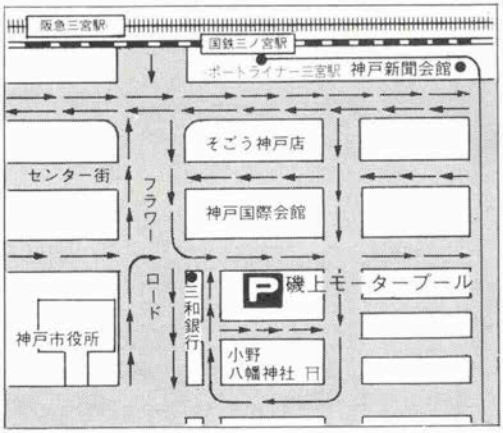
福富「大丸でも三十五年近くなりますが、お客さまの相手をさせて頂いたり、布地の仕入れの勉強等、人間関係やお商売のことまで、いろいろ勉強になりました。学院では教える側なので違う立場が、良かったですね。」

――明石短期大学も十五周年を迎えましたね。

福富「自分なりに考えていたのは、ただ洋裁を教えるというだけでなく、普通教育も受けた上で、専門職の勉強をしてほしいのね。ファッション産業界で働く女性として、才能だけでなく、男の人にも負けない教養を身につけるべきだと思う。そして女性がもっと働き易いように子供を預ける施設が多くなるといいわね。片ひじを張らず、自然に働いている、可愛い女性が素敵ですね」

自走式立体モータープール

ビジネスに！
ショッピングに！
ご利用ください



- 収容台数 300台
- 月極駐車可
- 年中無休

(8：00AM～11：00PM)

P

磯上モータープール（神戸国際会館前） TEL（078）251-7873

経済ポケットジャーナル

★神戸沖新空港の実現を政府に強く要請

8月23日、午後2時から生田神社会館において「中小企業振興・神戸新空港実現総決起大会」が開かれた。

熱気ある大会（あいさつは坂井知事）

これは、日本中小企業政治連盟（中政連）神戸支部連合会と関西国際新空港神戸沖誘致促進団体連合会の主催によるもので、最近の経済不振を打開し、中小企業の振興を計ることをめざした大会だ。当日は、岸信介中政連総裁（元首相）のほか、坂井兵庫県知事、宮崎神戸市長、中井一夫元神戸市長、石井一代議士らが壇上に姿を見せ、会場は熱気にあふれていた。

この日、採択された宣言および決議文は、中小企業の振興を政府へ要請するとともに、安くて便利な神戸沖新空港の設置を強く要請する内容となった。

神戸沖新空港実現へ向けての力強い前進である。

★北野町にファッショナブルなビル誕生

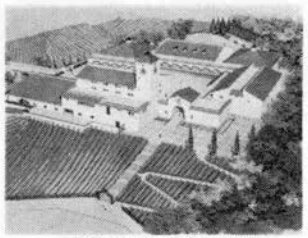
北野らんぷ博物館から異人館倶楽部へ上がるハンター坂の途中に、レンガタイル仕上げのしゃれた4階建のビルが完成。相変らずの賑わいをみせる北野町、ハンター坂界隈の新しいショッピングスポットとなりそうだ。この話題のビルは異国情緒たっぷりの北野町にふさわしい名前の「異人プラザ」で、現在店舗テナントを募集中である。ブティック、アクセサリー・宝石・貴金属の販売、レストランなど、「北野町で是非お店を開きたい」という希望者には朗報で、早々に夢が実現しそう。（お問い合わせ／シーナールインターナショナル）078(222)3963

話題の異人プラザ

★神戸ワイン工場着工 59年秋には出荷

神戸ワインのテストが続けられていたが、いよいよ本格醸造をと、西区押部谷町の農業公園内にワイン工場の建設が始まった。鉄筋コンクリート造り2階建のこの工場には、醸造能力約100klの醸造ラインと瓶詰め能力1時間当たり2400本の瓶詰めラインの設備をもち、来年秋には操業を開始して、59年秋に市場に出荷する計画。専用のぶどう園は、54年から栽培が始まっており、この約4万本の木がすべて成木となる63年度以降は、毎年約100万本のワインが生産できる。

また農業公園構想では、ワイン貯蔵庫、研修センター、レストランなどの施設を完成させ、新しい観光地にもする計画。


農業公園の完成予想図

★KOBEオフィスレディ

豊田陽代（はるよ）さん（23）

〈サントリー㈱神戸支店〉

関西学院大学文学部を卒業後入社して、洋酒の出荷を担当している。「活気があって楽しい職場です」とノッてる表情。「カクテルを勉強したい」と話し、テニス、コーラス、エレクトーン、旅行と趣味も多彩。男性は「やさしくて笑顔の素敵な人がいい」らしいが社内の彼女評も「やさしくて笑顔の素敵な人」。3人姉妹の一番上。東灘区在住

□第6回井植文化賞表彰式

定着した文化賞 さわやかな表彰式

左より安藤四一夫妻、田原冨子、井植祐郎、高林澄子、小泉康夫、阪上豊、中西平四郎の各氏／あいさつをする井植祐郎理事長
受賞を祝って乾杯／　音頭を取るのは中井一夫元市長

地域社会の発展や文化の向上に貢献した人に贈られる第6回井植文化賞〈主催・(財)井植記念会〉の表彰式が、9月4日、垂水区青山台の井植記念館で行なわれた。

同賞は、三洋電機㈱の創設者、故井植歳男氏の遺志によって昭和48年に設定されたもので、今回の受賞者は、文化芸術部門／田原冨子〈ピアニスト〉、科学技術部門／安藤四一〈神戸大工学部助教授〉、社会福祉部門／神戸大学看護ボランティア、地域活動部門／月刊神戸っ子、報道出版部門／ラジオ関西・兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座、日本経済新聞神戸支社・「神戸の中堅150社」「六甲海へ翔ぶ」の2個人4団体。

表彰式には井植記念会関係者や選考委員のほか、多田智満子さん、嶋田勝次氏らこれまでの受賞者もお祝いにかけつけ、約90名の出席のなか、井植祐郎理事長のあいさつの後、各部門の選考委員から選考経過の報告と受賞者の紹介が行なわれ、各受賞者に賞状とブロンズ像、副賞20万円が贈られた。

引き続いて、93才を迎えた中井一夫元神戸市長の元気いっぱいの乾杯音頭によって祝宴が始まり、受賞者を中心に談笑の輪が広がった。同賞は、これまで隔年に行なわれていたが、今回より毎年選考されることになっている。

話題のひろば
＜Ⅱ＞

□鳥居幸雄〈神戸市港湾局長〉

神戸港一五〇〇年処女出版を祝う

鳥居局長、麗筆に喝采

上段右より鳥居幸雄夫妻、謝辞を述べる鳥居さん、森本禎二有志代表よりの記念品贈呈
下段上右より宮崎市長　陳舜臣さん　下右より熊谷清さん　白川渥さん、下段左パーティに集まった人々

神戸市港湾局長の鳥居幸雄さんの著書「神戸港一五〇〇年」の出版記念会が、八月三十一日(火)、生田神社会館四階ホールで催された。

西条遊児さんの司会で、十五名の発起人代表として、川崎汽船の熊谷清さんの挨拶から始まり、港湾関係者や多彩な顔ぶれで総勢三五〇名の壮大な会となった。宮崎辰雄神戸市長も駆けつけて「神戸とミナトとの深い関わりについて再認識をした。今後、さらに、鳥居局長の麗筆を磨いていただきたい」との祝辞。作家の陳舜臣さんは「神戸生まれの自分の少年時代の記憶を喚起させられ、楽しく読ませていただいた」と、局長や出版元の海文堂の労をねぎらった。港湾関係業界の有志を代表して、森本倉庫の森本禎二さんが記念品を贈呈。そのあと、鳥居さんは謝辞の中で「ささやかな本の出版に大勢の人々に集っていただき有難うございました。今度は、市長の伝記を書こうかと思います」との言葉に、満場のホールはなごやかな楽しい雰囲気に包まれ、いよいよ佳境に入った。

文化ホールの岡田美代さんらの花束贈呈についで、作家の白川渥(あつし)さんの音頭で乾杯。祝電披露についで小曽根実さんのピアノに乗って佐々十郎さんのアトラクションスピーチ、長嶺正さんの音頭で万歳三唱。華やかな会となった。

KOBE 秋の芸術祭 1982 2nd

ワッペン・ジャズコンサート

KOBE JAZZ STREET

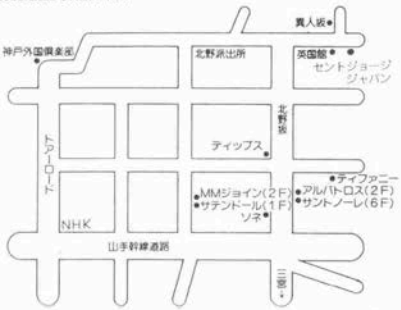
KOBE JAZZ STREET ★10月10日(祝)11日(休) 12:00~17:00 KOBE UP TOWN

10月10日(祝)11日(休) 12:00～17:00

神戸は日本のジャズ発祥地。日本で最初のジャズ・バンド、井田一郎のラフィング・スター・ジャズ・バンドが誕生したのが1922年。今年で60年になる。その輝かしい伝統を生かして、10月10—11日、神戸らしさをもったユニークなジャズのイベントが開かれる。神戸秋の芸術祭参加。題して「神戸ジャズ・ストリート」——

普通、ジャズのイベントは、コンサート・ホールで行なわれるが、そもそも神戸のジャズ・ファンは堅苦しい会場で聴くよりも、ライブハウスのような場所で自由な気持ちで聴くジャズを好む気質。そこでこの企画。山本通・北野町界わいのライブハウスを中心にした11ケ所の会場で開かれるが、演奏者は何ケ所かの会場をかけもちし、聴衆も好きな会場どこにでも入れるというシステムで、つまり、はしご酒ならぬ“はしごジャズ”という演出。

KOBE JAZZ STREET MAP



<出演>

★北村英治(10日)／世良譲(10日)／秋満義孝(11日)／古谷充(11日)／アンリ菅野／マリーン／キャンディー浅田

★ソネトリオ＋1／滝えり子＋森宏トリオ／サテンドールユニット／サントノーレトリオ＋森哲也／小曽根実カルテット／渡辺健蔵とディップスバンド

★ニューオリンズ・ラスカルズ／サウスサイド・ジャズバンド／キャッスルジャズバンド／キング・クレゾール・ジャズバンド／フラット・ファイブ／リバーサイド・ランブラーズ／スイング・ルーパーズ／明石メイト・ジャズオーケストラ／磐田フレッシュメン・ジャズオーケストラ

★特別出演／アップタウン・ロウダウン・ジャズバンド（米・シアトル）

<会場>

ソネ／アルバトロス／サテンドール／サントノーレ／mm ジョイン／ディップス／ティファニー／異人坂／セントジョージ・ジャパン／神戸外国倶楽部／英国館

★ソ　ネ

☎221－2055

神戸ならではの雰囲気！と定評のある店で、川瀬健(p)、曽根辰夫(b)、北村吉彦(ds)のハウストリオに、井手正雄(tb)が加わり、キャンディ浅田、ベティ鞍富らが歌う。神戸のラブスポットの草分け的存在で、スイング感あふれる演奏を聞かせる。また、国内・海外のジャズメンが楽器を持って現われ一緒にプレイする光景によく出合う店としても知られている。

ソネトリオ。この夜のヴォーカルはキャンディー浅田

北村　英治
<クラリネット>

神戸の人たちは文化度が高いのかな。アメリカで演奏する時とよく似た反応があって、日本のなかでもとても演りやすい街。それに我々プレイヤーにとってはアフター・アワーを楽しめる店が多くあってうれしい街なんですが、今回の企画はまるでアフター・アワーのような雰囲気があって、いいですね。今回もまた神戸で演るのを楽しみにしています。

★アルバトロス

☎231－3300

渋いグリーンを基調にした店内はアダルトな雰囲気。森宏(p)、秋月克衛(b)、堀口潔(ds)のトリオに、ママの滝えり子(vo)が加わって、スタンダードジャズを演奏。いつも可愛い歌いっぷりのママに人気がある。

円熟味をみせる滝えり子

神戸ジャズストリートではヴァイブの名手、鍋島直昶が加わるというから、楽しみ。

世良　譲
<ピアノ>

神戸とのつきあいは古いんですよ。つまり、昭和30年くらいかな、あのコペンが最初です。コペンや北野クラブで演奏してたから、そしてその後もしょっちゅう神戸で演ってるから、たくさん友だちもいるし、よく知ってる店も多いし、身近かに感じてますね。だからいうなれば改まって神戸というよりも、私にとっては〝地元〟ですね、神戸は。

★サテンドール

☎242－0100

伊藤修二(b)と高島正明(p)のデュオをバックに女性ヴォーカル（ミキ勝山、松永えりか、宇田川妙ほか）が流れ、若者たちのにぎやかな声が……。

気軽な雰囲気で女性客も多く、ジャズをバックに料理や酒を楽しみ、思い思いに時を過ごす若者にピッタリの店。時には特別ライブを企画している。

サテンドールではデュオに女性ヴォーカルが

秋満　義孝
<ピアノ>

神戸はオーソドックスなジャズが盛んな街ですね。戦後の、いわゆる進駐軍時代のジャズが好きな人が多いようで、私のレパートリーも、スイング系が主で、かつてのヒット曲、楽しい曲をどんどん演奏しようと思います。我々の演奏は雰囲気が大切ですから、いい気分で演れそうです。楽しみです。

古谷 充
<アルトサックス・ヴォーカル>

以前、神戸のライブハウスを3カ所くらい回って演奏した経験がありますが、ゴキゲンでしたね。その時演奏してみてやはり神戸だなと感じたのを覚えています。都市の規模に対してライブハウスがたくさんあって活発、しかもそれぞれに特徴があって楽しい店なんですね。こんな企画も神戸ならではですよ。これからもどんどんやって欲しいですね。

★サント・ノーレ

☎241-1710

北野店ではハッピーな音楽が

広い店内に響きわたる音楽は、安藤義則(p)、内藤博(ds)、奥田勝彦(b)に、ママの中谷衣里(vo)が加わった楽しい演奏。スタンダードからモダン、シャンソンにラテン、ウエスタン、ポップスとあらゆる音楽をレパートリーにして楽しませている。

トアロード店では、ピアノ弾き語りのパイオニア、森哲也が演奏。

★m・m・join

☎222-5314

ミー坊を中心にゴキゲンにスイング

オーナーでありハモンド奏者の小曽根実。加えて江藤嘉昭(as)、西野邦夫(ds)、諏訪善彦(b)のカルテットによるノリにノッた演奏は、スタンダードを中心に、モダン、スイング、ボサノバ、サンバなど幅広いレパートリーで、この店がゴキゲンなのは、やはりこのゴキゲンな演奏があるからあるから

アンリ菅野
<ヴォーカル>

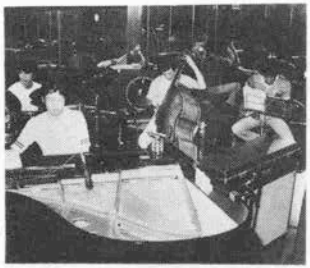
昨年はポートピアでのジャズ・フェスティバル、年末のワイド・ワイド・ジャズ、ライブハウス出演などで神戸によく来ましたが、いつも街を歩く機会がなくてとても残念に思っていました。今回の企画では、和気あいあい、リラックスしたライブになるでしょうね。だから、たまには私も聞く側になって神戸の街を充分に楽しんでみたいですね。でも、いろんな店を〝ハシゴ〟して歌うから、けっこう北野町あたりを楽しめるのかしら。

マリーン
<ヴォーカル>

神戸の皆さま初めまして……かな？実は以前二、三回神戸に来ましたが、今回のようにたくさんの人たちに会ってマリーンの歌を聞いていただくの初めて。だからとても楽しみにしています。マリーンのホビーは、友だちづくりと食べること。神戸のおいしいものたくさん食べたいし、一人でも多くの人とお友だちになれるよう、ガンバリマス。

★ディップス

☎221-5335



こちらもゴキゲン。ディップスバンド

大理石を使った豪華なインテリア、ゆったりしたスペースの店内の各コーナーは、ちがった雰囲気で楽しめるように設計。そこに流れる渡辺健蔵(b)、宮田正博(g)、斉藤信介(p)、藤原貴与志(ds)、横山(as)によるジャズは、スタンダードからフュージョンまでと幅広くまた黒人歌手、ロン・モーリスのピアノの弾き語りも人気。

★ティファニー

☎241−1771

ジャズを中心にしたレコードのコレクションが約6000枚。ライブはひろ子さんの歌と徳田雅崇のピアノ。ラテン、ジャズ、ポップスなどレパートリーは幅広い。「サービスしないのがサービス」という感じで、全く気軽な店。

★異人坂

☎222−2001

中田実郎(p)、藤沢美枝子(vo)、愛田洋子(vo)、森てるみ(vo)らが毎夜演奏しているラウンジで、2階は日本料理。会員制だが、昼は一般にも開放しており、観光客らが、ゆったりとして豪華な店内でくつろいでいる。

我が街の誇る アップタウン・ロウダウン・ジャズ・バンド

ベティ服部〈在シアトル〉

アップタウン・ロウダウン・ジャズ・バンド

1972年に産声をあげたアップタウン・ロウダウン・ジャズ・バンドは、J・R・モートン、S・ジョプリン、L・アームストロング、ルー・ワターズ、ターク・マーフィーといった系統のジャズを特色とするアンサンブル・スタイルのバンドで、レパートリーは400曲を数え、これまでに国内では東西両沿岸および中部の10数州、それにカナダと、広範囲にわたる演奏活動を続け、地元シアトルでは、当市の野球チームであるマリナース、フットボールチームのシーハークスの試合に毎回出演しています。また1979年度のオールスター・ベースボール・ゲームでも演奏しました。そのほかフェスティバル、博覧会など、枚挙に暇がないくらい活躍していますが、今回の神戸からの招待は、同バンドにとって初めての訪日になるばかりでなく、初めての海外演奏ということで、全員大いに張り切っていることはいうまでもありません。

リーダーでありコルネット奏者でもあるバート・バー氏は、招待を受けた喜びを次のように話しています。「思いがけないお招きにあずかり、プレイヤー一同光栄に思っています。これを機会に神戸とシアトルのジャズ界およびジャズ・ファンの交流の深まることを願っています」と。

最後にメンバーを紹介しておきましょう。

バート・バー (l. cor)
ポール・モナット (cor)
マイク・ホビー (tb)
ジョン・グッドリッチ (cl. sax)
ローズマリー・スパークス (p)
キャル・オウエン (bjo)
マーク・ベーレンキャンプ (tu)
スティーブン・ジョセフ (ds)

キャンディー浅田
<ヴォーカル>

神戸ってとっても好きですね。シャレた感じでね。食べものもおいしいし……。音楽の話ね……。今、ジャズが流行っていますけど、そんなブームにのっかっているって感じではなくて、ほんとにジャズが好きっていう人たちが多いみたいで、お客さんのマナー、とっても心得ていて、歌ってても楽しいですね。

★セント・ジョージ・ジャパン

☎242−1234

建物は異人館（旧クッペ邸）を利用したもので、庭の見える英国風のクラシックな雰囲気は抜群。北野の高台にあるので、昼夜とも景色もすばらしい。会員制だが、ビジターもOK。

★神戸外国倶楽部

☎241−2588

トアロードのつきあたり。1869年に外国人居留地に誕生した国際クラブがその前身の、在神外国人の社交の場。

★英国館

☎221−2132

明治43年に英国人設計技師によって建てられたもので、当時のイギリス人が使っていた家具、調度品、小物などを展示している。

象牙、銀、組紐を使ったオリジナルアクセサリーのお店。包装は錦織の袋で。不思議な魅力は、アクセサリーの妖しい魔力のせいかしら。

アクセサリーショップ

ま 組

ローズガーデン1F
(222)1505

The days of wine and roses…
Laugh and run away…
秋…恋に、酒にふさわしいバラ、
BluemoonとBlackteaが入荷。

ローズショップ

サムホール

ローズガーデン1F
(222)1200

レンガ造りのとってもお洒落なファッションビル。ブティック、ギャラリー、レストラン…。素敵なお店がいっぱい。This is Kitano!

JUST HAVE A LOVELY TIME

Rose Garden

中央区山本通2－8－15
(222)1140

shopping

秋の風感じながら歩いて北野坂
Walking Town Kitano

選り抜きの舶来高級品、例えば、Aigner、cassandre…流行を追わない、長く愛される服、靴、鞄…納得のいくショッピングフロア。

plaisir MIA

中央区中山手通1—24—13 平沢ビル1・2F
(222)1339 (231)2376

KOBE
MOGA

中央区北野町1—1—12 異人館倶楽部3F
(241)1195

自然の素材と色を追求し続けた手作りのニット。アダルト志向の、〝31㎜〟とカジュアルな〝trois-g〟ローズガーデンのショップでは今秋から別注オーダーを承ります。

KNIT SHOP
ぎゃるそんぬ

●SHOP ローズガーデン店 / 神戸市中央区山本通2-8-15ローズガーデン2F(222)1519
●SHOP 阪急ファイブ店 / 大阪市北区角田町5-5阪急ファイブ6F(06)314-1766
●SHOP ラフォーレ原宿店 / 東京都渋谷区神宮前1-11-6ラフォーレ原宿2・5F(03)497-0221